

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200461
事業所名	サロン・ド・フレール宮

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、清掃・溝掃除等に参加している。日々の散歩や買い物は職員ともに利用者也参加し、地域の人々と顔なじみの関係になっている。フラダンスや音楽療法のボランティアを受け入れ、併設の小規模多機能の方々と一緒に楽しみ、交流が図られている。地域のお祭りの神輿が立ち寄ってくれたり、近隣の喫茶店には予約をすと車いす対応もしてもらえ、全員で出かけている。年1回 施設開放を行ったり、地域の避難場所としてホームを提供することし、地域に開かれたホームを目指している。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生委員、地域包括支援センター職員、家族、利用者等の参加を得て2カ月ごとに開催されている。年1回は一宮市介護保険課担当者が参加している。事業所の近況報告や生活の様子、行事報告を行っている。毎回 参加者間で活発にホームでの暮らしぶり、感染症対策、災害時対応等の情報交換が行われ、ホームの考え方や努力を理解することが出来、有意義な会議となっている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市担当者とは書類提出等で訪問し、情報交換や相談事にはアドバイスをもらっている。地域包括支援センターとは運営推進会議の参加や入所相談、研修情報で連携している。市主催の研修には管理者やケアマネージャー、希望する職員が参加し、ホーム内で職員に勉強会を開き伝達している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会時や行事等で日常の様子を伝えながら意見や要望を聞いている。すぐに実行できることは改善し、会議で職員と話し合いケアや運営に反映させている。アンケート結果では「ほぼ満足しています」との意見が多いが、家族会がないので、もっと機会を捉えて関わりを増やす努力を重ねていきたいと思っている。毎月発行の「サロン・ド・新聞」にはその方の暮らしぶりの分かる写真が掲載されており、家族に送付し好評評価を得ている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○